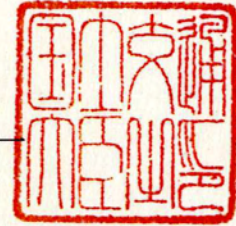


認定書

国住指第 2258 号
平成 27 年 11 月 10 日

シーシーアイ株式会社
代表取締役社長 岡部 修二 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0827
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／E P D M ゴム系発泡体・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／E PDMゴム系発泡体・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 仕様の寸法等：

仕様の寸法等を表 1 に示す。

表 1 仕様の寸法等

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ150mm以下)
	面積	0.0177m ² 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の総合計の割合)		70.7%以下
被覆材付配管と床との隙間の寸法 (クリアランス)		7.5～12mm
貫通する壁の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 75mm以上

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に、配管の構成材料を表3に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目		仕様			
被覆材	材料		無機質混入樹脂シート・ウレタンフォーム積層材		
	使用箇所		直管(立て管)の外層被覆材		
	処理方法		両側の壁際から300mm以上被覆		
	表面材	材料	種類：①又は② ①ポリエステル系樹脂(ポリエチレンテレフタレート等) ②ポリ塩化ビニル系樹脂		
		厚さ	非公開		
	樹脂シート	直管(立て管)	材料	種類：①又は② ①無機質混入オレフィン系樹脂(表面材は①) ②無機質混入ポリ塩化ビニル系樹脂(表面材は②)	
			組成(質量%)	非公開	
			厚さ 密度		
	基材	材料	ウレタンフォーム		
		厚さ 密度	非公開		
貫通部材 (図1参照)	保護テープ	材料	レーヨン・ポリエチレン(ゴム系粘着剤付)		
		厚さ 寸法	非公開		
	保持部材	材料	鋼板		
		厚さ 寸法	非公開		
	熱膨張材	本体	材料 質量 組成(質量%)	非公開	
			包装材	材料 厚さ 寸法	
アルミガラスクロステープ		材料	アルミニウム箔・ガラスクロステープ(アクリル系粘着剤付)		
		厚さ 寸法	非公開		
バックアップ材	材料 厚さ 寸法	非公開			
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：シリコーン系			
	充てん量	180(±20)g(配管の外径に応じた量とする) (片側90(±10)g×2箇所 クリアランス幅充てん)			

表3 仕様の配管の構成材料

項目		仕様	
配管	直管 (立て管)	材料	種類：①又は② ①硬質塩化ビニル管(JIS K 6741)(記号：VP及びVU) ②水道用硬質塩化ビニル管(JIS K 6742)(記号：VP)
		外径	φ18～φ114mm(記号：VP及びVU)
		厚さ	2.2～7.1mm(記号：VP) 1.8～3.1mm(記号：VU)

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 仕様の副構成材料

項目		仕様	
ジョイントテープ	材料	オレフィン樹脂フィルム(ゴム系粘着剤付)	
	組成 (質量%)	非公開	
	寸法		

5. 仕様の構造説明図：
仕様の構造説明図を図1に示す。

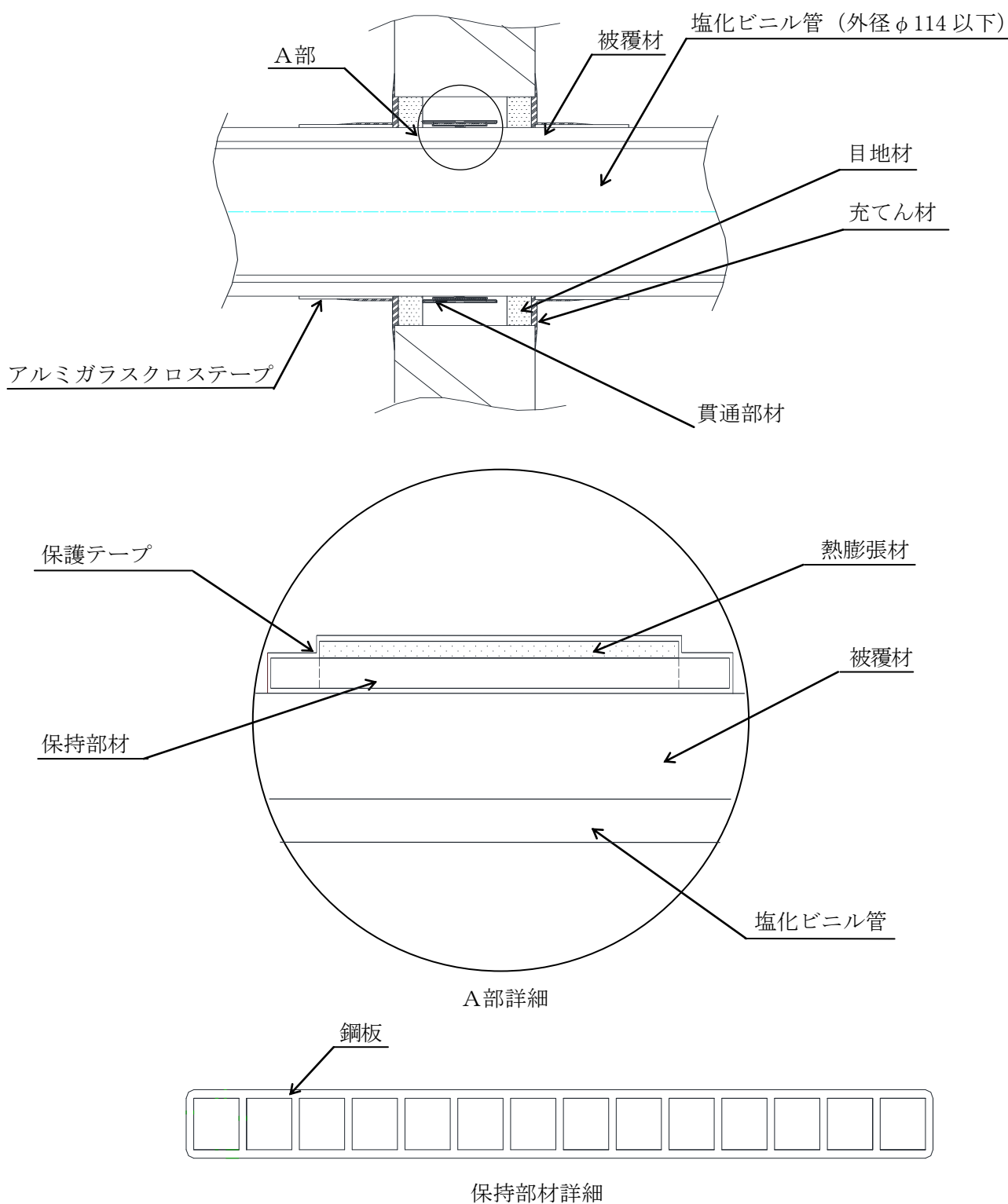


図1 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。

その際、配管の被覆材長さは、壁の左右面から 300mm 以上であることを確認する。

②被覆材の端部はジョイントテープで1周以上覆う。

③壁表面から内部に向かって 15mm の位置に被覆材へ墨出しをする。

④貫通部材を巻き付け、合わせ目に固定用のアルミガラスクロステープを貼り、墨出しの位置に合わせて、壁内部に挿入する。

⑤被覆材付配管の壁表面から外に向かって、100mm の位置までアルミガラスクロステープを巻き付ける。

⑥開口部と被覆材付配管の隙間にバックアップ材を入れる(挿入深さは壁表面と同じ位置)。

⑦開口部と被覆材付配管の隙間に密に充てん材を入れる。充てん後、隙間の無いことを確認する。

⑧壁の反対側の開口部と被覆材付配管の隙間について、⑤～⑦と同様の施工を行う。